

取組の目的・背景

2015年に閉校した室蘭市立絵鞆小学校、全国的にも珍しい2棟の円形校舎。設計者は坂本鹿名夫氏。室蘭市が耐震不足を理由に体育館棟を解体する方針を打ち出したため市民団体（むろらん100年建造物保存会と蘭歴建見会の共同プロジェクト）で2棟とも保存活用するよう署名活動を開始した。

取組の内容

- 室蘭市長と対談
- 署名活動開始
- 講演会やワークショップなど開催
- 見学会実施
- 公募に応募（落選）
- クラウドファンディング実施 予定金額達成

取組の成果

当初は、プロジェクトとして室蘭市側との話し合いを続け、市が打ち出した公募に応募したが、資金計画を理由に落選した。その後クラウドファンディングを実施し、多くの賛同と予定金額達成したので、室蘭市より条件付きで購入することになった。

取組の課題と期待

歴史的建造物の保存活用に関しての認知が特定の方たち以上に広まらない。内部の活用法や資金面がクリアにならないと歴史的・建築的に価値があるからと言って残そうと動きにはならない。残すことになったのは良かったが、これから本番で、活用されて維持していくことが課題。歴建の保存に関しては、建築の魅力伝える動きや活用案などを打ち出す必要がある。

建築士としての関わり

当初は市民団体プロジェクトの一員として活動開始。また室蘭市文化財審議委員もさせていただいたので、委員会でも保存を提案した。建築士会の補助金を活用させていただき、保存を訴えるパネルを製作した（写真左下）



URL

QRコード

[室蘭市立絵鞆小学校の円形校舎を2棟とも残したい！ | Facebook](#)

